

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援 ポコアポコ		
○保護者評価実施期間	令和 7年 2月 20日	～	令和 7年 3月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24名	(回答者数) 20名
○従業者評価実施期間	令和 7年 2月 20日	～	令和 7年 3月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7年 3月 14日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもたちがのびのびを遊ぶことができる環境があり、柵のある園庭、畑で野菜を育てて収穫したり、穴掘りしたり、裸足やどろんこ遊びを通して五感を刺激しながらいろいろな体験・経験ができる。	スタッフは笑顔で子どもたちに接しながら、子どもたちが無理なく自分からやってみたいと思える環境、雰囲気作りを意識している。	場面の切り替えが難しい子どもには個別で対応しながら「できた！」タイミングを逃さずに認めて自信に繋がるように心がけていく。
2	毎日昼食に手作り味噌で作ったおみそ汁を提供している。	食べ物に偏りのある子が多いので、畑で育てた野菜を取り入れたり、自分たちで収穫することで食育に繋がっている。	保護者にもみそ作りに参加して頂き、手作り味噌を作る意味を知らせている。
3	2・3歳児クラスと4・5歳クラスの2事業所が隣接している。	クラス毎で活動したり合同で活動したりして柔軟に対応することができる。	少人数の活動の中で、丁寧なかかわりをしていきながら大きな集団でも自信をもって活動出来るように支援していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	緊急避難時の対応について周知が不足している。	療育中の避難訓練は毎月おこなっているが、送迎時などの対応は周知できていなかった。	早急にマニュアルを作成していつでも見えるようにし、保護者へも周知してもらえようとする。
2			
3			